

### 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>基本理念を3つ掲げている。</p> <p>1、利用者様に寄り添いながら、ゆったりと穏やかに過ごして頂きます。</p> <p>2、その人らしい居心地の良い環境の中で自信や生きがいを取り戻して頂けるよう支援します。</p> <p>3、笑顔の絶えないグループホームの実現を目指します。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>基本理念をリビングの見えやすい所に掲げ、実現に向け日々の介護の墓に活かせるよう取り組む努力をしています。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>家族会や、運営推進会議を通してホームの現状を伝え、少しでも理解して頂けるよう取り組んでいる。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩等で、積極的に会話をするよう努めている。</p>	<p>○ ホームの前がアパートという事もあり、近隣の方々になかなかお目にかかれぬ状況であるが、少しずつホームの状況を伝えていくよう努める。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>月1回の地域ふれあい事業に参加し、地元の高齢者の方との交流を図っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域のふれあい事業に参加する中で、お手伝い等もさせて頂いている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を活かし積極的に改善している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の役員、行政の方々の率直な意見を伺い、サービスの向上に活用している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員の方の訪問を受けたり、毎月利用者の状況報告を行っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	1棟の利用者の中に地域権利擁護事業を利用されている方がいるので、制度の理解は少しは出来ている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議の中でも、利用者様への対応等話し合い、虐待防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に施設見学等をして頂き、不安や疑問点についてお聞きし、充分説明をいた上で入所して頂いている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見を傾聴し、管理者及び職員に情報の共有化を図っている。外部へは、介護相談員にお願いしている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時にzyoukyou報告をしている。面会に来れない家族に対しては、随時電話で対応している。又、情報紙にて近況報告を行っている。金銭管理に関しては、必ず領収書を添付している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱の設置をしている。上がった苦情は、苦情処理簿に記入し運営に反映している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任会議や毎月のミーティングにおいて、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化に応じた対応を心掛けている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会の内容を公開し希望を募り、職員の参加を進めている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会等に参加する事で、同業者との交流を図っている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に数回食事会の場を設けている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努めている。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係	家族及び関係者から、情報収集した上で本人とのコミュニケーションを図り、不安を取り除くよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安や疑問点など、話しやすい環境を作り、信頼関係を深めていくよう努力している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族が、病院受診に付き添えないなどの事情がある場合などは、ガイドヘルパー事業所の紹介及び連携をおこなったり、緊急時は職員が同行したりと、臨機応変に努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族から、入所前の生活パターンの聞き取りを詳しくおこない(情報収集)、ホームの環境に慣れていただくまでは、本人の動きを重視しながらのサービス提供と家族とも適宜報告や相談・スタッフ間での共有化をしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に料理作業をしながら、味付けや料理の仕方などを教えていただいている。今まで経験されてきた事を、活かしていただけるよう場面提供しています。	○	夏時期は、朝顔の花を一人分ずつ植え、成長を観察しました。皆さん、とても喜ばれたので、今後も続けていきたいです。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を密に取り、また、面会時には報告を兼ねた会話をしない、本人が安心して健やかに過ごしていただけるよう支援しています。	○	運動会への家族参加を勧めたり、ドライブ同行や誕生日の面会なども勧めていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	会いたい様子や、本人から家族への相談事が生じた場合(帰宅願望も含み)などは、連絡をおこなうなどの支援を行っています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	どなたが面会に来られても、スタッフも笑顔でお迎えし、ゆっくり談話していただけるよう配慮をおこなっています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆で一緒に出来るレクリエーションを工夫し、雰囲気作りに努めています。利用者間のトラブル発生時は、スタッフが仲介に入り、早急に検討おこない、最小限に食い止められるよう援助しています。	○	介護度の強い利用者にかかりきりになると、他の利用者さんより不満が出るので、平等を保てるように関わっています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院延長などの理由により、退所になられた方の場合などは、利用者様の様子を見に行ったり、家族とも当分連絡を取り合うように努めています。	○	特老や有料ホームに移動されたのちも、施設間での情報のやり取りをおこない、退所されてからも最期まで把握できたらと考えます。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中での様子観察や、何気ない会話の中から、その方の「思い」を知るように心がけ、スタッフ間で共有や伝達をおこない、意向に添えるよう努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の(在宅時や入院時)情報を収集し、今までの生活習慣を大事にしています。特に、得意だった事等を続けていただき、楽しみや自信に繋げていけるよう努めています。	○	今後も生活暦を重視し、畏敬の念を持ち続けながら支援していきたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	午前・午後・夜間の状態観察・把握とその個別記録・報告をおこない、スタッフ間で共有し、日々の介護に反映できるように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題分析の段階で、本人・家族様と話をおこなったり、定例会(全スタッフ)で検討した事等を、介護計画に反映するようにしています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	急激なレベル低下などで医療面の優先が必要な時期等、プランが追いつかないケースもありましたが、状態変化に応じて、またドクター指示があった場合などは、見直しをおこない、プランの修正や変更を行なっています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	午前・午後・夜間の様子や気づいた事をそれぞれの勤務者が個別記録し、共有と把握に努めています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	意向に添えるよう、精一杯グループホームとしての役割を考慮しながら務めています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ふれあい事業に参加したり、介護相談員訪問、幼稚園・小・中学生との交流、地域消防団への協力依頼などおこない、入所者様も喜ばれています。民生委員や地区役員の方とは、推進会議にて交流を図っています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域ケア会議やケアマネ会議(町)に参加し、情報交換や収集をおこなっていますが、施設サービスが主であり、他のサービスは利用できない事が多い。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	日常生活自立支援事業を利用されている方が入所された際は、地域包括支援センターと小まめに連携を取り、生活が安定してからも適宜連絡を取り合っています。待機者情報も、毎月おこなっています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診日は、「外来受診情報書」にて健康面・食事・排泄の情報提供しています。主治医に相談事発生時は、受診にケアマネが同行することもあります。ガイドヘルパー利用者の場合は、ヘルパーさん記帳用のノートを設け把握しています。	○	主治医の意見書も取り寄せ、ケアプランに反映するようにしています。継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	入院中の経過・情報収集おこない、早期退院へ向け支援をおこなう。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	高齢化に伴い、疾患の重度化や身体機能低下などに対応できる体制作りを充実させていく。(利用者にとって、良い方向)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人権尊重(名前をちゃん付けて呼ばない・排泄時のトイレドア閉めやひざ掛け使用など)を、心掛けています。	○ 自己尊重、丁寧な言葉使いを充実させていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意向に添うような言葉掛け「どうしたいですか？」で、自己決定の優先、家族との連携を取っています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の個性を活かし、その人に合ったレクリエーションを考慮。入浴においても、本人の意向に添いながらおこなっています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	常日頃から鏡を見ていただく。月1回の美容室訪問での散髪で、満足していただけているようです。馴染みの美容師さんに来ていただいたケースもあります。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べやすく食材の形も分かりやすく、更に眼でも美味しく食べていただける様心掛けています。好き嫌いについても確認しています。調理の下ごしらえや片付けなど、会話しながら楽しくおこなっています。	○ 行事食担当スタッフを中心に、お祝い食(誕生日会・正月・節句など)の提供を継続し、季節感や食べる楽しみを味わって頂いています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	集団生活であり、内服薬との関係もあり飲酒や喫煙の援助は、難しい状況です。お好みの物やおやつ類は、要望に最大限応えられる様にしています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	介護記録(排泄チェック)の確認をおこないながら、その方のパターン把握やサインを見逃さないよう努め、声かけや誘導をおこなっています。排便状況を見ながら、下剤薬の調整などもさせていただき不快感の軽減を図っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間・曜日などの個別入浴までは出来ていませんが、本人の意向や体調・気分配慮をおこない、入浴を勧めています。(入浴日は、3回/週) 入浴日以外は清拭、夏時期はシャワー浴をおこなっています。	○	個々に応じた入浴で、爽快感を持っていただける様支援します。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	起床時間の検討をおこない、個別対応をしています。昼食後の休憩も取り入れています。就寝時間も、本人の意向に添って支援しています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	リハビリ体操やお口の体操は定着し、楽しみな日課になっています。それぞれの得意な分野(縫い物・塗り絵・歌など)を發揮していただき、気分転換を図っています。	○	年間行事の取り組みと充実化。(運動会・クリスマス会・誕生会など)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所の方針に従っています。預かり金(お小遣い)のある方は、本人の希望を伺って、スタッフが買い物代行する事もあります。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	園庭散歩は、天候に配慮しています。介護度アップと共に、身体介護に時間が掛かる状況も増えており、計画しても実行できない事も多くなっています。定期受診日に外食も兼ね、家族と交流されるケースもあり協力しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事での花見ドライブや自宅訪問おこなった。年末年始の外泊者は、家族都合で居ない状況です。	○	ドライブなど年間行事、継続します。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、手紙・葉書の投函など快く援助しています。行事などの写真を撮り、他県在住の子供さんへ報告を兼ねお送りしています。	○	レクリエーション内容に絵手紙を取り入れていきたい。家族とゆっくり電話が出来る時間を作りたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の際には、ゆっくりと過ごして頂けるように空間作りをおこなっています。また、次回も気軽に来ていただける様、対応しています。スタッフの接遇も定例会で確認しています。	○	ご家族の行事参加を、勧めて行きたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド柵使用は利用者に応じ、最小限の使用をおこない、本人・家族の了解の下、センサー利用にて転落防止に努めている。情報の共有化と見守り重視しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	認知症による徘徊者の危険防止の為、止むを得ず玄関の鍵は掛けています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人の意思を尊重しくつろげる場所に誘導したり、居室に入られた際はプライバシーを守りながら見守っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な方の物品の保管・管理は、倉庫預かりしています。薬も、スタッフで管理しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災訓練の実施。薬保管場所の注意、服薬時の重複点検実施、歩行時の見守り徹底、食材の考慮、食事の介助及び見守りなどで事故防止に努めています。ヒヤリハット記録にて、情報共有と改善にも取り組んでいます。	○	ヒヤリハットへの積極的な取り組みを、継続して行きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応は、家族及び救急車要請、職員の連携は実施できていますが、応急処置などの訓練は未だできていません。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年間行事計画で、消防署、地域の消防隊員との合同訓練を実施した。地区の方の参加までは至っていない。	○	避難場所の確保や確認。地域住民との連携。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクの高い兆しの方は、説明行い理解して頂くように働きかけています。情報共有化するために変化の申し送りを徹底しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルサインチェックにて、対応できています。異常の際も、家族への対応もできています。	○	事故防止、健康異常の早期発見、観察の眼を養っていくと共に情報を共有化する。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書が添付されているので、参照しています。服薬については声だし確認をおこなっている。下剤服用は、排便性状確認して、コントロールできている。	○	服薬確認と誤薬防止。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立作成において、食材や栄養バランスを考慮しています。一日の水分量チェックや毎日牛乳提供。リハビリ体操などの適度な運動を心掛けています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケア一実施している。不十分な所は介助し、洗浄・管理を手伝っています。	○	日々実施している、嚥下体操(ビデオ活用)の継続。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ケースにて1日の飲水量チェックを実施。個々の状況に応じてミキサー食、キザミ食、トロミ剤使用などの提供をしています。毎月の体重測定、受診後の採血データも参考にしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ季節型予防接種を、受けてもらっている。感染症マニュアル必読及び手洗い・うがいの励行、マスク着用している。	○	プラズマクラスターイオン発生器を設置し、感染症防止に努めている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理担当者は、基本を守る。定期的な調理器具の消毒及び乾燥をおこなっている。食材購入の際は、新鮮な物を選び賞味期限にも気を付け購入している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇やテラコッタに季節の花々を植えている。作品を、掲示している。朝顔を個人で育て、成長観察した。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れた飾りつけ、毎月のカレンダー作り、ビデオ・CDの活用おこなっています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同志の配慮や、孤立感を感じないように共に手伝って頂いたり、声かけを心掛けている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や、好みの物を持ってきてもらっている。本人が、居心地よく過ごせるよう、家具などの配置を工夫している。	○	季節によって、家具やベッドの位置などを工夫していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	状況に応じて、小まめに換気をおこなっている。加湿器、空気清浄器を使用している。室温調整は、個々の状況や希望に添って調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており、車椅子での生活が安全に送れるように工夫している。手すりの活用をしていただき、安全性と自立の向上を図っています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	掲示物や場所などの明記を大きく表している。大きな声で声かけをし、見守り介助している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭園は広く、芝生やベンチ等があり、ボールゲームや合唱をしたり季節の花や野菜栽培をしたり、楽しんでいます。	○	庭や畑での花や野菜栽培を、利用者と一緒に充足させていきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
			②数日に1回程度ある
		○	③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

\* 季節に沿った行事、誕生会、レクリエーションの定着。利用者、ご家族、職員がお互い支えあい安心して生活できる環境作りに努力しています。

\* 食材は、地産地消で安心・安全に配慮しています。